

職員研修 報告書・レポート

平成30年11月18日(日)

氏名： 古瀬 綾美

① 研修名：精神・発達障がいのある方への相談支援技法ワークショップ

② 研修内容：講義 精神・発達障がいのある方への相談の技法

演習 プチ相談から問題解決相談の技法

今回のOffice 夢風舎 舎長 土屋徹氏による講義・演習に参加させて頂きました。

講義については、相談に来る人は希望を持って自ら前向きに何かに取り組もうとされている人であるため、しっかりと話を聞き、どうしたいのか？を自ら考え導き出す手助けをすることが大切なことを学びました。相談する上で必要なことは傾聴スキルのような技術ではなく、相手のありのままの姿や言動、行動を導き出すことを学びました。ゆで卵理論という構造化した相談方法についても初めて伺い、黄身、白身の大切に扱いや触れ方について理解することが出来ました。相談する側について『言葉・文字・絵』を使用すること、共通言語をしっかりとアセスメントをすることが重要であることについて学びました。

演習については、グループ内での意見交換や他者による相談方法を拝見し、寄り添うように支援してきたつもりがかえって相手に恥ずかしい思いや、何も言えない状況を作り上げてしまっていた可能性があること。今回相談をする側になり、初めて相手の立場になり相談していくのかを身をもって体験することで理解することができました。

『おもてなし』の心をもって対応すること、文字情報・絵や線・画像等を使用し、その人の特性に合わせた支援の仕方について学ばせて頂きました。

③ 成果/感想：

今後は利用者とのやりとりの中での『語り』をより大切にし『強み』を活かした支援をすること、表情やしぐさ、発言からその人の背景を読み取る事を大切に相談をしていきたいと思いました。私は 今まで利用者から相談を受けたら解決策を提案するものだと勝手に思い込み、身勝手な支援をしてきたと反省しました。

また、未来と一緒に創作することをお手伝いすることを忘れずに今後しっかりと支援していきたいと思います。